

《担当者名》片山寛信 katayama@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

対人援助の仕事に携わるとき、対象となるクライアントとその家族の理解は必要不可欠となる。個人や社会の構成単位としての家族を理解するために、家族研究の基礎理論やデータをもとに現代社会の家族について社会学、家族関係学の視点から考える。

【学修目標】

専門職として多様な家族への援助を考えるために、家族内の問題を社会的要因との関連で理解することができる。
多様な家族への支援方法を知る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 家族とは何か	受講上の諸注意を理解する 日本の家族・世界の家族。「家族」に関する価値観の違いを理解する	片山
2	家族のイメージと実像	家族のイメージ、家族の定義について理解する	片山
3	社会構造と現代の家族	前近代の家族から近代家族の変容について理解する	片山
4	社会構造と現代の家族	生殖技術の変化と妊娠について理解する 多様な家族のあり方を理解する 育児休業について理解する	片山
5	家族が抱える課題	多様な親子関係のあり方について知る	片山
6	家族への支援	多様な親子関係のあり方について検討する	片山
7	家族への支援	社会構造の変化に伴う家族と環境について理解する	片山
8	結婚と多様な形の家族	青年期における家族の課題について理解する 子どもの人権と子ども差別について理解する	片山
9	ジェンダーと家族	家族を支援する上での方法論について理解する	片山
10	妊娠と出産と子育て	家族の状況を把握する能力を身に着け、アセスメントと家族支援の展開方法について理解する	片山
11	社会が排除している家族と個人 高齢期の家族	結婚の意味と社会の変化について理解する	片山
12	子ども家庭支援の実際（1）	身近な自治体の取り組みを理解する（市区町村子ども家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センター・要保護児童対策地域協議会） 身近な自治体の子ども家庭支援について、自治体が表示資料やデータから考察を行い、担当者へのヒアリング内容を検討する	片山
13	子ども家庭支援の実際（2）	身近な自治体の取り組みを理解する 身近な自治体の子ども家庭支援について、担当者へのヒアリングを行う	片山
14	子ども家庭支援の実際（3）	身近な自治体の取り組みを検証する 当別町の子ども家庭支援について、担当者へのヒアリング結果をまとめる	片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	新たな家族支援を考える まとめ	家族支援に求められる新たなプログラムについて検討 できる 助成金やクラウドファンディングの申請書が作成でき る	片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

参加態度 30% 課題レポート 40% 最終課題レポート 30%

【教科書】

よくわかる現代家族 第2版 神原文子 杉井潤子 竹田美和編著 ミネルヴァ書房

【参考書】

問いからはじめる家族社会学 岩間暁子 大和礼子 田間泰子 有斐閣ストゥディア
入門家族社会学 永田夏来 松本洋人 編著 新泉社

【学修の準備】

【予習】（2時間）

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

不明な点について文章化しまとめておく。

【復習】（2時間）

授業内容についてまとめ、考察を行う。

不明点がある場合は、教員に質問するなどの対応を行い、解決しておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

片山寛信（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

児童養護施設，障害者（児）相談支援事業所におけるソーシャルワーク実践の経験を生かした教育を行う